

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表	
事業所名	てらぴあぽけっと姉ヶ崎駅前教室

利用混童数 21

ANSWER The answer is **100**.

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	2				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	20					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20			3		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19			1		
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	1				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	1		1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	1				
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	1		1		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	2		1		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	3	6	6	・事業所を離れての交流はないと思いますが、集団セラピーなどで他のお友達との交流はあると思います。	・当教室では、個別支援という特性上、また安全上の理由により、事業所外での交流が難しいところがありますが、今後も検討してまいります。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	5	1	1		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができるていると思いますか。	20					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20				・毎回、フィードバックの際に困りごとなどを聞いてもらえてアドバイスもいただけるので助かっています。	・温かいお言葉をありがとうございます。毎回のフィードバックの時間を通して、保護者様の困りごとやお気持ちを共有していただきながら、日々の支援に活かすことを大切にしております。今後も、ご家庭と連携しながら、安心してご相談いただける関係づくりを続けてまいります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	1				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	6	11	1	・保護者会やイベントなどは無いと思いますが、しっかり支援はしていただいているな、と感じています。 ・保護者会があつても、仕事もありなかなか日程も合わない。 ・普段交流することが挨拶程度しかないので、機会があれば保護者同士で交流して情報共有したい。	・ご意見をありがとうございます。今後も支援の質を保ちながら、保護者様同士のつながりについても検討してまいります。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	1		2			
20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20						
21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	20						
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20						

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	3		1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	1		1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	1				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19			1		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	20					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	18	2		<ul style="list-style-type: none"> ・通所することを今まで嫌がったことは1度もなく、毎回にこにこで嬉しそうです。 ・いつも楽しみにしています。 ・お友達に会えるのを楽しみにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・嬉しいお言葉をありがとうございます。お子さまが通所を楽しみにし、笑顔で過ごされている様子を大変嬉しく思っています。これからも安心して通っていただける環境づくりと、お友達との関わりを大切にした支援を続けてまいります。 	
	29	事業所の支援に満足していますか。	20			<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの笑顔が増えました 	<ul style="list-style-type: none"> ・「笑顔が増えた」というお言葉をいただき、職員一同大変嬉しく思っております。日々の支援を通して、お子さまが安心して過ごし、前向きな気持ちで取り組めていることが伝わり、私たちの励みになります。今後もお子さま一人ひとりの「できた」を大切にしながら、丁寧な支援を続けてまいります。 	

事業所における自己評価結果

公表	事業所名	事業所における自己評価結果			
	てらびあぽけっと姉ヶ崎駅前教室				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点	
環境・体制整備	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			
	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	4	・支援以外の業務が滞ってしまうことがある。 ・職員が1人欠勤の際に回らなくなるケースがあるため、職員数の見直しが必要だと思う。	
	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			
	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	・清掃が行き届いていない箇所が出てきている。	
	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6			
業務改善	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		・毎月、個人と教室、それぞれの目標を立て月末に振り返りの時間を設けている。 ・施設として及び個人の目標を立て、振り返りも行っている(月1回)。	
	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5		
	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6			
適切な支援の提供	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・とてもよくできていると思う。	
	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6			
	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・スタッフ間の話し合いもしっかりとされている。	
	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	・地域支援・地域連携は考えられていないと思う。	
	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・担当(2名)を必要に応じて他スタッフも入り、立案を行っている。	
	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・気になる所は常に相談し、改善できるようにしている。	
	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・朝礼にて打合せを行い、担当者間も含め、確認・共有を行っている。	
	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	・終礼にて振り返りを行い、保護者様からのお話等の共有もしている。 ・打合せは毎日ではない。	
	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
連携	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1		
	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		・保育園や就学先の学校等と必要に応じ、連絡を取っている。	
	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			

関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・情報共有シートを作成し、渡している。	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		・保育所等との子ども同士の交流はない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・日々、フィードバックを行い、子どもの発達状況や課題について共有している。 ・利用時には、毎回その日の状況をお伝えし、ご家庭の様子やご相談などをお聞きしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5	・ペアレント・トレーニングは行っていないが、質問があった際には対応の仕方についてお伝えする等の取り組みを行っている。 ・FC本部が開催する保護者様を対象としたイベントなどの情報提供を行っている。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5		・保護者会については、開催を検討中。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	・お子さまのプライバシーを気にする保護者様もいらっしゃるので行っていない。	・招待はしていない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	・教室での食事はないので、行っていない。 ・食事がないため、対応はしていない。 ・食事の提供はないが、非常食があるため、保護者様に食べ物アレルギーの確認をしている。 医師の指示書までは求めていない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6			

事業所における自己評価総括表

公表				
○事業所名	てらびあぽけっと姉ヶ崎駅前教室			
○保護者評価実施期間	2026年1月7日～2026年1月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数)	20
○従業者評価実施期間	2026年1月7日～2026年1月17日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月18日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの特性や発達段階に応じた、きめ細やかな個別支援を重視しており、関わり方や課題設定が柔軟である。	支援の中で小さな達成を見逃さず、子ども自身が「できた」と感じられる関わりや声かけを意識している。	職員間で支援の視点や考え方を共有する機会を増やし、支援のばらつきを減らしていく。
2	日々の支援内容や子どもの様子について、保護者に丁寧に伝えることを大切にしている。	保護者の気持ちや不安に寄り添い、相談しやすい雰囲気づくりを心がけている。	家庭での関わり方についても助言を行い、家庭と連携した支援の充実を図っていく。
3	ただ預かるだけでなく、支援計画に基づき、一人ひとりの「できた」を積み重ねることを目的とした支援を行っている。	子ども一人ひとりの「できた」「伸びた」点に着目し、成功体験を積み重ねられるよう関わっている。	支援内容やねらいを保護者へより分かりやすく伝えていく。
	事業所の弱み（※）だと思われるること ※事業所の課題や改善が必要だと思われるること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	丁寧な個別支援を行っている一方で、限られた人員の中で業務を行っているため、業務負担が大きくなりやすい。	職員数に限りがあるため、日によっては業務が集中し、余裕をもった対応が難しい場面がある。	安定した運営体制の構築に向け、記録関連のデジタル化に取り組み、業務効率の向上を意識した運営を目指している。
2	保護者様同士が情報交換や交流を行う機会が少なく、横のつながりを持つきっかけづくりが十分とは言えない。	一人ひとりの子どもに丁寧に関わる支援体制を重視していることから、保護者様同士の交流機会については、実施方法や体制面の検討が課題となっている。	個別支援の質を大切にしながら、教室の状況に応じた形で交流の機会を検討している。
3	保育園、認定こども園、幼稚園等や地域の中での子ども同士の交流の機会がない。	時間枠や個別指導という特性上、交流の機会を持つことは難しい。	教室の状況に応じた交流の仕方を検討していく。